

## 鈴木章北海道大学名誉教授を招き、講演会を開催

平成24年2月23日（木）、福岡国際ホールにて、2010年ノーベル化学賞受賞者鈴木章北海道大学名誉教授による、受賞記念講演会「ノーベル化学賞を受賞して～未来を開く化学～」が開催されました。

本講演会は、科学・化学の面白さについて広く知っていただくために、福岡女子大学、九州大学、西日本新聞社の主催により開催され、中高生から一般市民まで約600名が参加しました。

主催者を代表して、梶山千里福岡女子大学学長と、川崎隆生西日本新聞社代表取締役社長の、鈴木名誉教授への謝意をこめた挨拶の後、壇上に立った鈴木名誉教授は、有機化学を学び始めた北大時代の



エピソードや、受賞の対象となったクロスカップリング反応の実用例、ノーベル賞の受賞が決まった瞬間からストックホルム



での授賞式での様子など、ご自身の体験談を交えながらわかりやすく語り、会場は和やかな雰囲気になりました。最後は、資源の少ない日本で科学の道を志すことの重要性、自分の志した道を究め、邁進していくことの大切さを熱く語られ、会場からは大きな拍手が起こり、熱気の冷めない会場では、講演終了後も、鈴木名誉教授への質問が相次ぎ、2時間の講演会は盛況のうちに幕を閉じました。

## 最先端・次世代研究開発支援プログラム研究発表会を開催

平成24年2月28日（火）、アクロス福岡において、高等研究院の主催により「最先端・次世代研究開発支援プログラム研究発表会」が開催されました。

本プログラムは、第86回総合科学技術会議（平成21年12月3日）での方針決定を受けて創設された、将来、世界をリードすることが期待される研究者、特に若手研究者や女性研究者を対象とした研究支援制度で、中長期的な我が国の持続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献することを目的としています。

研究発表会では、梶山正司（独）日本学術振興会審議役（基金担当）の挨拶の後、高等研究院特別顧問の中野三敏名誉教授（平成10年紫綬褒章受章、



平成22年文化功労者）が、「和本リテラシーの回復を願う」と題して、特別基調講演を行いました。中野名誉教授は、異分野の研究者が一堂に集った本発表会を意義ある機会と評価したうえで、本日の参加者のうち、はたしてどれくらいの方が和文を読むことができ、だろうかと問いかけ、外国語だけでなく自国語の習得と教育が必要であると強調しました。

その後、本学の林潤一郎先端物質化学研究所教授、山崎晶生体防御医学研究所教授、山東信介稲盛フロンティア研究センター教授を含む研究者7名の研究成果の発表があり、各発表後には、発表者間でのディスカッションも行われる等盛り上がりを見せ、「国民との科学・技術対話の実施」を求められている本プログラムの趣旨および成果を社会に発信できた発表会となりました。

また、会場の後方では本学からの採択者13名の研究概要の展示も行われました。

